

普及活動情勢報告（平成29年6月分）

高吾農業改良普及所

J Aコスモスの夏秋高糖度トマト「ぴゅあトマト」の収穫が始まる！



J Aコスモスの夏秋高糖度トマト「ぴゅあトマト」の収穫が5月末から始まりました。「ぴゅあトマト」はJ Aコスモス吾川支所夏秋トマト生産部会の生産者4名が標高400～1,000mの山間地で栽培しており、12月頃まで収穫します。

普及所は、栽培初期から生育状況の把握に努めながら栽培管理について助言指導してきました。今後は2週間ごとに現地巡回を行い、果実糖度や土壌の分析結果に基づいて栽培管理を指導していきます。

トマト生産者の経営改善に向けた個別面談を実施



J Aコスモスは、日高支所ハウス園芸部会トマト生産者14名の経営改善に向け、5月31日から個別面談を実施しました。今作の栽培結果や経営目標の達成状況、次作に向けての取り組みについて話し合いました。

面談では生産者から「もう少し大玉で収穫できるよう灌水量を増やす」「経費から考えると目標収量はこれぐらいないといけない」などの発言があり、経営目標達成に向けた具体的な課題を明らかにすることができました。

普及所は、生産者が目標を達成できるように個別に支援していきます。

佐川町・越知町でピーマンの出荷がはじまりました



J Aコスモスピーマン生産部会が、5月26日斗賀野雨よけ9名、6月9日斗賀野露地5名、19日越知露地37名、のべ51名を対象に夏秋ピーマンの目慣らし会を開催しました。

普及所は、梅雨時期から夏場にかけて発生しやすい病害虫の見分け方や対策、栽培管理について指導しました。

生産者からは「よく観察してみる」「病気の株を見つけた時の対処法は？」「薬剤散布や追肥のタイミングは？」などの質問があり、今後の管理や注意点が確認できました。

さらに普及所では、新規栽培者を対象にほ場での個別指導を徹底し、安定生産を支援します。

市場事故をなくせ！ J Aコスモスニラ生産部が腐敗対策会議を開催



J Aコスモスニラ生産部では市場事故防止に向け6月16日に腐敗対策会議を開催し、32名が参加しました。J Aが出荷規格や出荷ルールを確認し、普及所はチェックリストを使った自己点検を実施しました。さらに衛生帽子のかぶり方の実演や農作業中の熱中症予防を呼びかけました。

生産者は衛生帽子に「お風呂あがりみたい」と笑いながらもさっそく購入方法を質問していました。

今後も普及所では、市場事故ゼロを目指して農家による自己点検活動を推進していきます。

「第20回全国農業担い手サミット in こうち」 実行年です。



5月28日に農業担い手サミット高吾地区幹事会を普及所で開催しました。幹事会構成員15名で10月24日～25日に実施する地域交流会や現地研修会について検討しました。

幹事会では、「地域交流会に女性農業者の参加をぜひ呼びかけたい」「交流会時には各町村の自慢の農産物や加工品を展示したい」等活発に企画案が出ました。

普及所は、幹事会での企画案を実現できるよう町村の協力や女性農業者の参加を呼びかけていきます。

「エコファーム鳥の巣」が役員会を開催



6月8日、佐川町集落営農組織「エコファーム鳥の巣」が役員会を開催し9名が出席しました。今年役員交代の年であるため、新旧の役員が集まり、現在までの活動を整理しH29年度計画を検討しました。

普及所は他組織の活動について情報提供し、規約改正に向けた支援を行いました。

新役員からは、今までの活動内容や課題について確認できたとの声が聞かれました。

普及所は、地域の農地を守る集落営農組織が運営されるよう情報提供や役員会への支援を継続していきます。